

濱田青陵 （幼名） 考古學者、文學博士。明治十四年二月二十一日大阪
 生れ、昭和十二年七月二十日歿（六八—一九六）。本名耕作。別號青
 陵山史、青陵生等。明治二十八年東京帝國大學文科大學史學科卒。歐
 洲留學後、京都帝大初代考古學教授、昭和十二年同大總長。この間京
 田淑人と東京考古學會創設、帝國學士院會員。

著譯書『希臘紀行』（大正七年七月十五日大鏡閣）、『西梅記』（合
 著・兼文堂編、大正八年九月十五日京都・兼文堂書店）、『ダンテの
 研究』（合著・京都文學會編、大正十年九月十八日京都・星野書店）、
 『詩聖ダンテ』（合著、大正十年十一月十五日大阪・朝日新聞社）、
 『恩賜京都博物館講演集・第一號』（合著、大正十四年六月十日京都
 ・恩賜京都博物館）、『大阪文化史—大阪府記念講演集』（合著・大
 阪毎日新聞社編、大正十四年八月二十日大阪毎日新聞社）、『百濟觀
 音』（大正十五年五月二十日イデア書院）、『橋と塔』（大正十五年
 八月二十日岩波書店）、『ミスハエ美術考古學發見史』（譯、昭和二年
 一月十四日岩波書店）、『考古遊記』（昭和四年七月十日江書院）、
 『博物館』（昭和四年九月五日ツルズ）『日本兒童文庫』。改題『考古
 學入門』（博物館）『十六年十月一日創元社』『創元選書』、再刊『考古
 學入門』（五十二年六月二十日講談社）『講談社學術文庫』（大正連
 歐使節記』（昭和六年四月二十日岩波書店）、『「メーター」法強



制施行反對意見集』（合著、昭和八年八月七日岡部
 長原刊）、『日本美術史研究』（昭和十五年七月）

『百濟右寶刊行會』（東京洋美術史研究）『昭和十
 七年九月二十日左寶刊行會）、『考古學研究』（四版、昭和十七年

十一月、千五百座右寶刊行會）、モンテリウ入著『考古學研究法』

（名義）譯、昭和十八年十一月五

日秋原堂主文館。梅原兼俊譯）、『青

陵隨筆』（昭和二十二年十一月）

千五百座右寶刊行會）、『南歐遊記』（昭和二十二年四月、千五百座

大雅堂）等。

文獻『濱田先生追憶録』（昭和二十四年七月、千五百座右寶刊行會）
京都府立大入學部
國文學部

古學教室編輯）、藤岡謙一郎著『浜田實慶とその時代』（昭和五十四

年十一月十五、百華生社）等。

